

一般質問…ここが論点

9月定例会

9月市議会定例会中、11日、12日、13日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますので、ぜひ一度ご覧ください。

喚田孝博（新政クラブ）

学校教育現場の諸問題

問

北部小の元教員の殺人事件をうけて、今後の対策をどう考えるか。また、教員評価と学校評価が新たに導入されるようだが、市としての対応について伺う。

答

誠に残念で申しわけない事件で陳謝したい。採用時、新任時における教員としての適性の見きわめが重要だと考える。

教員評価と学校評価は、試行並びに一部導入をしているが、積極的な取り組みと研究をしていきたい。

「みなとまちづくり」計画について

問

竹島埠頭を中心に新たな「みなとまちづくり」計画の概要と目的はどうか。

答

港湾の活性化と観光振興のため、海のまちづくりにもふさわしい拠点や魅力づくりについて、現在、

協議会で計画の策定をしており、国の認定を受けたい。

松本昌成（公明党）

中心市街地と商店街の活性化対策は

問

空洞化が進む中心市街地や商店街を再生するための支援策について伺う。

答

法律が改正され、従前の活性化策に加え、都市機能の増進や経済活力の向上を図る総合的な支援策となった。市は関係7課で勉強会を立ち上げ検討に入っている。また、西浦商店街が解散されるが、既存商店街の組織や活動を見直す時期がきていると考える。



AEDの啓発と設置促進を

問

救命措置として効果が認められるAEDの啓発と普及促進を要望する。

答

現在、公共施設4カ所を含め、市内19カ所に配備され、配備場所関係者を中心に救命講習がされている。今後も積極的にPRに努めたい。公共施設の配備が少ないので、小中学校を始め、可能な限り早い設置を考えたい。

斉藤泰一（市政クラブ）

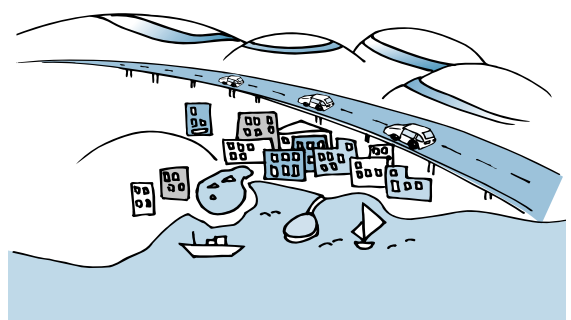
国道23号蒲郡バイパスについて

問

蒲郡バイパスでの未事業業化区間への取組みはどうか。また、開通後の渋滞対策と休憩施設の設置について伺う。

答

この道路を最重要路線と位置づけし、事業化に向け最大限の努力をしている。蒲郡ICまでは平成24年度の開通目標としている。



開通後は交通量の増加が見込まれるため、豊岡大塚線も並行して整備したい。休憩施設の候補地はあるので国に要望している。

国道247号中央バイパスについて

問

開通部分での交通事故の発生状況と今後のスケジュール及び渋滞対策はどう考えるか。

答

交差点事故が多く増加傾向にある。平成22年度に全線開通を見込んでいたが、市街地での渋滞は緩和されると思われる。